しんぶん赤旗

2026年（令和8年）8月28日 金曜日
日刊第27126号
1952年5月30日第3種郵便物認可
©日本共産党中央委員会2026年

日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ケ谷4の26の7
電話03(3403)6111 ファクス03(5474)8358 www.jcp.or.jp

新基地反対・普天間撤去を

誰ひとり取り残さない沖縄
デニー知事 平和な未来へ

知事選告示

告示日、最後の街頭演説を終え「団結頑張ろう」を行う玉城デニー知事（左から4人目）＝27日、那覇市

任期満了に伴う沖縄県知事選（9月13日投票）が27日、告示されました。3期目を目指す玉城デニー知事（66）と、高市政権丸抱えの古謝玄太前那覇市副市長（42）＝自民、維新、国民、参政、保守推薦＝との、事実上の一騎打ちです。25日に出馬を取りやめた下地幹郎元衆院議員も古謝氏を支援します。他に4人が立候補しました。高市政権言いなりに基地強化・戦争準備に加担する県政か、平和な未来を展望し、「沖縄のことは沖縄で決める」県政を選ぶのか。大きな岐路に立つ中での選挙戦です。

↓関連②③④面

「誰ひとり取り残さない」沖縄を掲げるデニー知事は終日、県内各地で訴えました。自らの母の故郷である伊江島（伊江村）を背にして臨んだ出発式で、貧困家庭を対象にしたバス・モノレールの通学費無料化や中学生までの医療費の窓口無料化など2期8年の実績を紹介。とりわけ公共交通に力を入れていく考えを示しました。

デニー氏は基地問題を巡り、辺野古新基地容認を表明した古謝氏を厳しく批判。米国防総省が、辺野古新基地が完成しても、那覇空港を念頭に「長い滑走路」を用意しなければ普天間基地を返還しないと表明したことにふれ、「普天間を返すための人質のように那覇空港を提供することは絶対に認めない。辺野古は絶対反対です」と述べ、普天間基地の閉鎖・返還、無条件撤去を訴えました。今回の知事選では、普天間基地問題が最大の争点として浮上しています。

また、デニー氏は同日午後、那覇市の県庁前での演説で、「平和な沖縄の未来をつくる」と表明。「これ以上、沖縄に軍事基地はいらない。自衛隊の増強は認めない」と力を込め、高市政権が強行する沖縄の「戦争最前線化」を厳しく批判しました。

一方、古謝陣営は同日午前、那覇市の県庁前で第一声を上げました。企業動員で集めた聴衆に加え、推薦を得た各党が勢ぞろいし、組織力でデニー陣営を圧倒する構えを見せました。今後、自民党幹部が相次いで沖縄入りし、テコ入れを図る構えです。

日越両党理論交流開く

東京 自由な時間・人間の解放・AIなど議論

日本共産党とベトナム共産党代表団長の田中悠副委員長・書記局長代行とベトナム共産党代表団長のグエン・スアン・タン党中央理論評議会議長が基調報告。双方から6人が報告し、未来社会や人間の解放を巡るマルクスの理論や、資本主義のもとでの人工知能（AI）の問題などについて議論しました。

日本共産党とベトナム共産党の第12回理論交流会談。正面の列左から2人目は田中悠団長、右隣はグエン・スアン・タン団長＝27日、党本部

日本共産党とベトナム共産党の第12回理論交流会談が27日、東京都内の日本共産党本部で開かれました。「21世紀の世界と共産主義の理論の生命力」をテーマに日本共産党代表団長の田中悠副委員長・書記局長代行とベトナム共産党代表団長のグエン・スアン・タン党中央理論評議会議長が基調報告。双方から6人が報告し、未来社会や人間の解放を巡るマルクスの理論や、資本主義のもとでの人工知能（AI）の問題などについて議論しました。

田中氏は、日本共産党が進めてきたマルクスの『資本論』と「自由な時間」についての研究について報告。マルクスが未来社会について、労働時間の抜本的短縮によって万人が「自由な時間」を持ち、「人間の自由で全面的な発展」が可能となる展望を示していることが、現代の日本社会で長時間労働などにより時間を奪われている若者や労働者の現状と重なり、大きな反響を呼んでいると紹介しました。

田中氏は、「自由な時間」の拡大がジェンダー平等、気候危機、技術革新とAIなど現代社会の問題を理解し、解決方向を示すキーコンセプト（カギとなる概念）となるとも指摘。とくにAIの急速な進化には人間の制御を超えかねない異質のリスクがあり、国際的なルールの制定が急務だと強調しました。また国際情勢に関して、国連憲章に基づく平和の国際秩序と「核兵器のない世界」を求める多くの国々と市民社会の努力に触れ、この世界史の本流と連帯する国際活動を日本共産党がこの間展開してきたことを紹介しました。

タン議長は、「人間の解放」を巡るマルクスの理論に焦点をあて、「マルクスの（未来）社会論は、個人の自由、人間の自由が全面的に発展する社会共同体をつくることが最終目標だと示している」と指摘。ベトナムが人間の解放を民族の解放と結び付けてきたことに触れたうえで、国を開発する全政策で人間を中心と位置づけ、かつ開発の主体、目標かつ原動力と見ており、「人間の発展と解放」を目標にベトナムの社会主義を一歩ずつ構築していると報告しました。

（2面につづく）

富山・石川で大雨

2市3町に一時特別警報

冠水する道路＝27日、富山県氷見市藪田地区

能登半島付近は27日未明から前線の影響で大雨となり、気象庁は午前6時20分、富山県氷見市と石川県羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町に警戒レベル5の大雨特別警報を発表しました。両県では線状降水帯が断続的に発生し、5市町は「緊急安全確保」を発令しました。午後4時20分、「レベル3大雨警報」に切り替わりました。道路の冠水や低地の浸水、河川の氾濫、土砂災害に厳重な警戒が必要といいます。↓関連②⑪面

両県は災害対策本部を設置。富山県では3河川が氾濫し、氷見市で約1700戸が停電するなどしました。石川県の3市町で家屋の浸水や孤立集落が確認されました。

共産党議員ら被害状況調査

日本共産党富山県委員会には27日早朝から、県内各地の党員や議員、読者らから「電話が通じない。市役所には停電の苦情が殺到している」「がけ崩れで通れないところがある」などの情報が寄せられています。

レベル5の大雨特別警報が発令された氷見市では、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の崩壊などが発生しています。穴倉陽子党氷見市議は自身の住む藪田地区について、「朝起きたら車庫や選挙用に借りていた事務所が床下浸水していた。道に境目がなくなっている。どこまでが道でどこまでが側溝、用水路か分からない。藪田では土砂崩れが2カ所、田んぼの冠水が複数箇所で起きています」と話します。午後から被害調査のために同市の指崎や吉滝に向かいました。

県によると、午後5時半現在、人的被害の報告はありません。（富山県・羽田鼓）

熊本地震 きょう1カ月

災害対応で奮闘の自治体職員

30年前より25％減

熊本地震が発生してから、28日で1カ月となります。住民の災害関連死を防ぎ、いち早い復旧のために自治体職員が懸命に対応しています。その奮闘の一方で、被災した自治体の正規職員が30年前と比較すると最大で約25％も減っていることが27日、本紙の取材で分かりました。

（丹田智之、矢野昌弘）

「正直、私たちも手が回っていないのが実情ですね。実は、私自身も先週の火曜日（7月28日）から、自宅には数時間しか帰れていない状況でして…」

8月上旬、地震で大きな被害が出た熊本県内の自治体で、管理職の男性が記者にこう漏らしました。

「みんな『住民のために』という使命感を持ってやっています。ただ、私たちがそういう状況ですので、やはりどうしても隅々まで行政の手が届いていない実態はあるかもしれない」と疲労をにじませます。

「3日に1回くらいは避難所での業務を担当している」と話す30代の女性職員。地震発生直後と比べると避難所の集約が進んだ25日時点でも、避難所には別の自治体からの応援も含めて3人の職員が常駐し、日勤と夜勤の2交代制です。夜勤は15時間と長時間の勤務です。

この女性職員は「夜勤明けの午前中は休暇を取ることも可能ですが、休まずに庁舎へ向かう職員もいます。仮眠はできても体力的にきつい」と訴えます。

通常の業務に加え、災害ごみ集積所や家屋調査の業務も複数の課で分担。子育てをしながらの災害対応で「かなり忙しくなっている」といいます。

「息切れ」が心配になってしまうほどの被災自治体職員の過重負担。今回のような災害への備えがあったのでしょうか。

総務省（旧自治省）の「地方公務員給与の実態」調査で、阪神・淡路大震災が発生した1995年と2025年の正規職員数を比較してみました。

熊本県宇城市の場合、1995年には477人いた一般行政職が2025年には357人となっていました。

近年、全国で多発する災害の教訓は、国主導で進めてきた公務員削減を改め、マンパワーの拡充で、災害に強い自治体づくりを指し示しています。

（11面につづく）

避難所で給水支援する他の自治体からの応援職員＝4日、熊本県宇城市

潮流

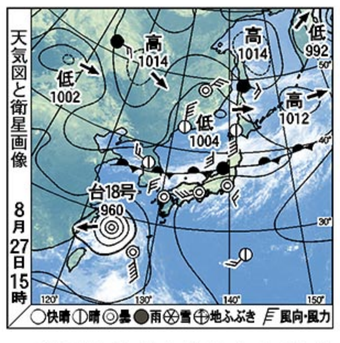
食を支える農の現状をこの目で知ろうと南信州を訪ねました。稲の穂が垂れる前の青々とした田んぼを見つめながら、ある専業農家は打ち明けます▼「収穫まで1カ月、米の値段が心配。資材高騰し1俵60キロで2万円ぐらいは欲しいね。農薬や肥料などの値がみんな値上がっている。下がるのは米の値段だけ。これはおかしい」と▼「米づくりは、天候やカメムシなど虫に左右される。畑の作業は古希を超えた体にはキツイ。割に合わない仕事だ」との嘆きも。そんな会話の途中に、名前どおりに真っ白なシロサギが一羽、トンボが乱舞する田んぼに降り立ちました▼「エサを見つけたのか、首を下げるしぐさも愛らしいですね」。話をふると「春はホタルが飛びツバメも巣づくりをします。いいでしょう、農村は」と都会にない魅力で盛り上がりました▼農村で農業が継続して行われることがもたらす恵み、農業・農村の多面的機能です。農家民宿を通じ稲刈り体験など動植物や豊かな自然にふれることで、いのちを大事にする感性や情操を豊かにする取り組みも盛んに▼農業を普段の仕事とする「基幹的農業従事者」が初めて100万人を割りました。35％が後期高齢者です。この先、食料を誰が生産するのか、社会全体に問われる事態です。農家が来年も続けようとの意欲がわく農政への転換を。田園風景で息づく多様な生態系を未来に残すためにも、消費者が生産者の思いに寄り添いたい。

〈26・8・28〉

ニュースと読み物

ネパール土石流死者270人超 5↓
ＯＴＣ負担軽減求める声 2
世界でも低い社会保障費 6
将棋新人王戦４強決まる 10
浜岡原発中電が廃炉で不正 11
真珠の耳飾りの少女展 12
テレビ・ラジオ番組表 7
小説 5
囲碁・将棋 8

（ロイター）



秋雨前線が山陰沖から関東に停滞。北海道は午前を中心に雨。東北は晴れ間があります。関東から中国・四国は曇りや雨。土砂災害に警戒。九州と沖縄は晴れ。最高気温は平年並みか高いです。

	午前	午後	夜	降水%	気温29(土)	30(日)	31(月)
佐賀	☀	☀	☁	20	29/26	☁	☁
長崎	☀	☀	☁	20	28/25	☁	☁
熊本	☁	☁	☁	30	27/27	☁	☁
大分	☂	☂	☁	30	28/26	☁	☁
宮崎	☁	☁	☁	20	29/24	☁	☁
鹿児島	☁	☁	☁	20	28/24	☁	☁
那覇	☁	☁	☁	20	29/27	☁	☁
松江	☂	☂	☁	80	29/25	☁	☁
山口	☂	☂	☁	60	29/25	☁	☁
徳島	☁	☁	☁	50	29/25	☁	☀
高松	☀	☀	☁	30	29/25	☁	☁
松山	☀	☀	☁	20	29/25	☁	☁
高知	☁	☁	☁	30	28/25	☁	☁
福岡	☀	☁	☁	40	27/25	☁	☁
大阪	☂	☂	☁	60	31/25	☁	☁
奈良	☂	☂	☁	50	32/26	☁	☁
和歌山	☁	☁	☁	50	32/27	☁	☁
神戸	☂	☂	☁	70	32/26	☁	☁
岡山	☂	☂	☁	50	33/27	☁	☁
広島	☂	☂	☁	50	34/27	☁	☁
鳥取	☂	☂	☁	80	32/25	☁	☁
長野	☁	☁	☁	50	30/21	☁	☁
静岡	☁	☁	☁	60	28/26	☁	☁
名古屋	☂	☁	☁	60	31/25	☁	☁
岐阜	☂	☁	☁	70	30/24	☁	☁
津	☂	☁	☀	60	32/26	☁	☁
大津	☂	☂	☁	70	31/25	☁	☁
京都	☂	☂	☁	70	31/26	☁	☁
宇都宮	☁	☁	☁	20	32/25	☁	☁
前橋	☁	☁	☁	30	34/24	☁	☁
さいたま	☁	☁	☁	50	33/24	☁	☁
千葉	☁	☁	☁	60	32/26	☁	☁
東京	☁	☁	☁	50	32/26	☁	☁
横浜	☁	☁	☁	50	32/26	☁	☁
甲府	☁	☁	☁	50	33/25	☁	☁
山形	☀	☀	☀	30	32/22	☁	☁
福島	☀	☀	☀	20	32/22	☁	☁
新潟	☁	☀	☁	50	31/23	☁	☁
富山	☁	☁	☁	70	30/23	☁	☁
金沢	☁	☁	☁	80	31/24	☁	☁
福井	☂	☂	☁	80	29/23	☁	☁
水戸	☁	☁	☁	60	32/23	☁	☁
札幌	☀	☁	☁	30	25/13	☁	☁
釧路	☁	☂	☀	70	25/20	☁	☁
青森	☀	☀	☀	20	29/22	☁	☁
盛岡	☀	☀	☀	20	30/21	☁	☁
仙台	☀	☀	☀	20	33/23	☁	☁
秋田	☀	☀	☁	30	30/23	☁	☁

○のち ○一時・時々 気温上:最高 下:最低
日本気象協会：17時

■定価（税込み）
日刊紙 月3497円
日曜版 月 990円
申し込み

「読者の広場」への↓投稿はこちらへ

赤旗YouTubeチャンネル→